

RNN速報

「アフガニスタン北東部地震」被災者緊急救援のお願い

RNN事務局長 黒住 宗道

各位

10月26日、日本時間午後6時ごろ(現地時間午後13時30分ごろ)アフガニスタン北東部を襲ったマグニチュード7.5の地震は、カブールから約260km北北東に位置するヒンドークシュ山脈を震源とし(米地質調査所[USGS])、アフガニスタン・パキスタン両国にまたがり甚大な被害をもたらしました。国連人道問題調整事務所(UNOCHA)によると、この地震による死者は、356人(アフガニスタン84人、パキスタン272人)、負傷者2,546名(アフガニスタン394人、パキスタン2,152人)、建物の全半壊は30,331棟(アフガニスタン4,964棟、パキスタン25,367棟)にのぼる(10月30日時点)。アフガニスタンの首都であるカブールでも建物への被害などが出ています。岩が道路を塞いでいる箇所もあり、被災地へのアクセスが困難な状況となっています。

AMDAでは発災当時カンダハルに滞在していたアフガニスタン支部長のムハンマド・N・ラヒミ医師と連絡をとり、29日に活動の開始を決定しました。AMDAアフガニスタンは、まずカブール北部に位置する被災地の一つパンジシール(Panjshir)州に調査に入り、一旦カブールに戻ったのち、11月2日の時点で、ラヒミ支部長の指揮のもと、医師1人、看護師1人からなる医療チームがパキスタンと国境を接するナンガハール(Nangarhar)州に入って活動しています。チームが入った地域は携帯電話がつかない場所であるため、詳細な情報は追ってチームがカブールに戻ってから寄せられることとなっていますが、毛布配布など寒さ対策が見込まれています。

この度も、下記の基準に則り、各位に募金をお願い申し上げる次第です。尚、本募金の当面のメ切を本日から1ヵ月後の2015年12月3日といたします。宜しく願いいたします。

RNN定例会議(1998/7/24 開催)により、本ネットワークによる緊急救援活動実施について

- ② RNNのメンバーが被災した場合
- ② 「トピアの会」のネットワーク (INNED、姉妹校等)が被災した場合
- ③ AMDAが現地入りした場合

が即対応の基準として承認されています。

募金は下記のRNN郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はAMDAへの委託とともにRNNとして責任をもって活用させていただきます。これまで同様、募金の領収書は各委員(教団・教会・寺院)名で出されます。ご協力に際しては、通信欄に「アフガニスタン地震」とご明記下さい。

以上

RNN郵便振替口座

加入者名: RNN

口座番号: 01310-9-63933